

フォト ギャラリー

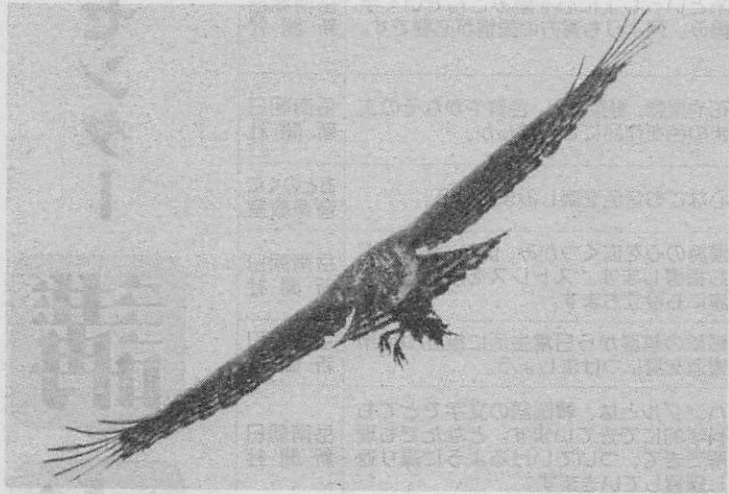
「野生の凄みクマタカ」

林 孝行

(富士宮市大岩)

森林の王者、食物連鎖の頂点に位置するクマタカの姿を求めて朝霧に通い続けている。しかし、クマタカと出会える回数は少なく、たまに出現しても遠くで飛翔しており、こちらの思いは届かない。そんなある日のこと。トビが数羽飛んでいたが霧が湧いてきたので、今日はダメかなと思っていた瞬間である。突然、霧の切れ間

から数羽のトビに囲まに広げまっすくこちらに迫ってくるものがい



た。翼長1・7倍のま

足の付いた体の一部が驚づかみされていた。ある。

ウワー近い!! 急ぎカメラのファインダーの中にクマタカを捉え、反射的に連写していた。数秒間の心躍る出来事であった。神様、クマタカ様、ピン

が嫌がって逃げているに!と祈るような気持ちであった。回はエサになってしま

大したところ、そこには全ての生き物を射抜くような橙色の鋭い眼光で、野生の凄みを感じさせるクマタカがい

た。さらに足には、食べかけのクラスらしき